



第49回雑居まつり

第2回実行委員会 報告

- 開催日 2024年7月27日(土) 午後7時～9時
- 会場 児童相談会議室A・B

◎配布資料

- 第2回実行委員会 資料
- 第49回雑居まつり 参加台帳(提出締め切り)
- 行事における臨時出店届(模擬店希望団体向け)
- 行事等に於ける取扱食品について(模擬店希望団体向け)
- メインステージエントリーシート
- スタンプラリーエントリーシート

○第1回実行委員会参加の26団体に加えて、今回あらたに12団体が参加・自己紹介しました。「コロナ禍で不参加だったが今年は参加したい」という団体、初参加希望の団体もありました。

「キャンドルをつくる」「子どもたちでつくるカフェ」「水俣病患者の支援。自分たちの活動のアピール」「福祉作業所の作品」「ホームレスの方の支援。活動にぜひ参加してほしい」「ベトナム民族の紹介」「知的障がい者の方のスポーツを通じて社会参加をうながす活動。パネル展示」

1. 役員選出

・第49回雑居まつりの実行委員長は 世田谷区聴覚障害者協会 本多忠雄さんが引き受けてくれました。

「雑居まつりが始まったのは49年前。その頃の自分は、差別も平和も福祉も知らなかった。仲間と出会って雑居まつりを知った。障がいがあってもなくても活動できる場、平和を支える場は大切だと思っている。今年、旧優生保護法裁判が勝利し、世田谷区の手話言語条例もスタートした。雑居まつりでは、参加者にぜひ手話を知ってもらいたい」

・副実行委員長は各エリアの代表(各広場代表)にお願いする。

・会計監査は、昨年に引き続き

齋藤有司さん(サポートステーションさいとう)

野中悟さん(世田谷ボランティア連絡協議会)にお願いする。

2. ポスターについて

紙の色は余剰紙の有効利用をすることにして 「うぐいす色」 に決定。

イラストは、昨年に引き続き 荻野ひかりさん にお願いする。

3. 新型コロナウイルス感染対策について

昨年とった対策を、今年も踏襲する

共通認識

- ・ 3密の回避。マスク、手洗い、手指の消毒、体調管理、検温の励行。

具体策

- ・ **本部**：非接触型体温計、不織布マスク、ビニール手袋、ごみ持ち帰り用レジ袋を用意。
- ・ **公園の水場**：石けんボトルを用意。
- ・ **本部および飲食コーナーおよび各団体**：手指消毒アルコールボトルを設置。
- ・ **ポスター**：以下の文言を入れる
「新型コロナウイルス感染症の予防をできる限り行いながらのんびりと開催します」
「感染予防のご協力をお願いします」
- ・ **チラシ**：以下の文言を入れる
「新型コロナウイルス感染症の予防をできる限り行いながらのんびりと開催します」
「来場される方にも感染予防のご協力をお願いします」
 - マスクの着用をお願いします。
 - ごみはお持ち帰りください。
 - マイバックをご持参ください。

□飲食を提供しない団体は、消毒用アルコールの用意をしなくてもいいのではないかと、という意見もあったが、消毒用アルコールは本部と飲食コーナーだけでなく各参加団体でも用意することになった。

4. ごみ処理について

昨年とった対策を、今年も踏襲する

ごみを出さないことをめざす

- ・ マイバッグの持参を呼びかける。
 - ・ バザー品の箱など必要かどうかお客さんに聞く。
 - ・ お店のごみは、各団体で持ち帰る。
 - ・ 模擬店を出すお店は、環境も考慮し工夫してもらう。
 - 使い捨て容器を使わない発想と工夫を考えてみる。
 - 環境にやさしい素材で提供する。(プラスチック系は使用しない)
 - 自然素材の紙、紙袋、串、経木、プラ系でもポリ(ポリエチレンやポリプロピレン)
- 袋などを使うようにし、各模擬店で責任をもって回収する。

□模擬店だけが考える問題ではない。 →昨年同様、実行員会全体で考えていく。

5. 飲食コーナーの設置について

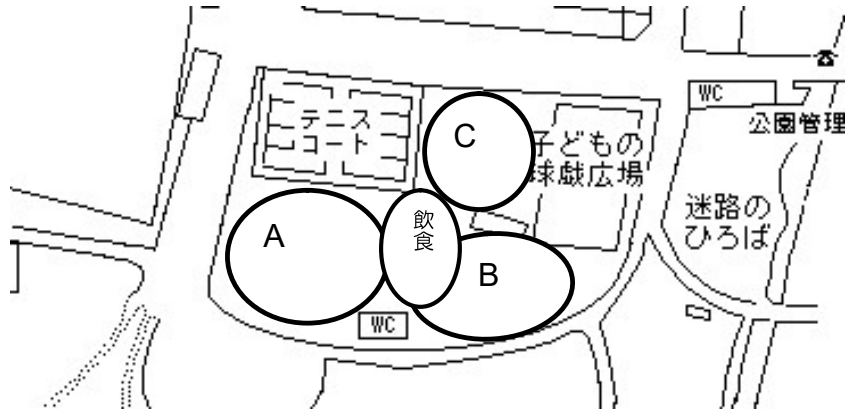
- ・ 食べ歩きは「不可」
- ・ 子ども連れ、お年寄り、車いすの方などにとってやさしいコーナーなので「設置する」
- ・ 飲食コーナー会議「やる方向」

6. 出店場所について

昨年と同様 **エリア別** でいく。

□ 7月27日現時点で参加台帳の提出が37団体。初参加したい・復活したい、今年はとりやめるなど、数に前後はあるにしても、昨年と同様58団体程度は参加が予想される。

エリアの選定



□ Cエリアは木の根でつまずいてしまう。広場に入る通路だけでもスロープを付けるなど平らにすることができないか？

→車いすラリーは別のエリアに移動しては？

→車いすの方がどうすれば移動しやすくなるかは、場所の整備や変更だけでなく、他の方法があるのでは。

→車いすの人も自由に移動したい。設備を充実させる、誰かが手伝うなどいろんな案があるが、『手伝って』と言いつけなければならない人がいる」ことを知る機会でもある。

→Cエリアは普通に歩くのも大変なので別の平らな場所に変更してほしい（元核戦、元ふれあい通り）

→ゴザを敷くとか。目をかけて誰かが手助けする、寄り添えるようにしたい。

→不便な場所は必ずある。場所を変えれば済むことではない。助け合いが必要で、それが雑居まつりの基本ではないか。

→誰かが荷物を持って大変そうだったら「自分は何ができるのか？」と考える。雑居ではそう育ってきた。

→Cエリアでもデコボコしている場所は限られている。

→昨年、車いすラリーの場所を実際に現地に行って検討した。いい場所だったと思っている。

自分たちの目で確かめて、自分たちで作り出すことが必要なのでは？

→Cエリアの参加団体で話し合って検討してはどうか。

昨年と同様 A・B・Cエリアでいく

7. 全体企画について

①サンバパレード

プレーパークはやる方向。P-Razil とまだ連絡が取れていない。

②メインステージ

メインステージエントリーシートの締め切り：9月14日まで

手話通訳者に渡す書類（シナリオ・歌詞・アピール内容等）：9月28日まで **締め切り厳守**

③スタンプラリーについて

スタンプラリーエントリーシートの締め切り：9月28日まで **締め切り厳守**

○スタンプラリーをする子どもたちと何かしらのやり取りをしてください。

→具体的にどんな取り組みをしているのか参考にしたいという意見があり

例えば… □「将来のゆめ」を聞く。

□メタルマッチで火花が出たらOK。

□遺伝子組み換えでないラムネを渡して話をする。

など、工夫した取り組みの発言があった。

○やりとりが終わったらスタンプを押してください。スタンプの大きさは2cm×2cm以内。

○スタンプラリーの最後に本部で景品を渡します。子どもたちが喜ぶような景品を寄付してください。当日、本部まで持ってきてください。

□昨年のスタンプラリー子どもの参加者数を次回お知らせします。

8. 雑居まつりを継続する上での課題

○継続していくための会議をします。8月24日第3回実行委員会にて。「雑居まつりを継続する上での課題」をお持ちください。

○事務局会議にぜひご参加ください。次回は8月3日です。

9. その他

○食品を扱う団体は必ず、「行事における臨時出店届」を提出してください。

締め切り：9月28日まで **締め切り厳守**

◆今後の予定 ※会議の進捗状況により、回数が増えたり減ったりする可能性があります。

○第3回実行委員会 8月24日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室

「雑居まつりを継続するための会議」

○第4回実行委員会 9月14日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室

メインステージエントリーシート締め切り

○第5回実行委員会 9月28日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室

スタンプラリーエントリーシート締め切り

行事における臨時出店届締め切り

○第6回実行委員会 10月5日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室

◎第49回雑居まつり 10月13日（日）羽根木公園

○第7回実行委員会 10月26日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室